北海道大学 博士課程教育リーディングプログラム

「物質科学フロンティアを開拓するAmbitiousリーダー育成プログラム」

2022年度リーディングプログラム独創的な研究活動経費 研究計画調書

申請年月日: 年 　 月 　 日

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **申請者** | **所属学院名・****専攻名・研究室名** |  | **LP-ID** |  |
| **氏　　　名** | **ふりがな** | **E-mail** |  |
|  |
| 研究課題 |  |
| 研究期間 | 2022年9月　～　2023年3月 |
| \*学振特別研究員等他の研究助成を受けている学生学振等の研究課題名 |  |
| \*他の研究助成との研究課題の違い |  |
|  | 所属部局 | 職名 | 氏名 |
| 指導教員 |  |  | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

【研究活動経費使用内訳】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 品名等 | 金額 (円) |
| 少額備品費・高換金性消耗品費 | *（例）・電子天びん（○○社製、型番○○）一式**（※注：1個10万円以上の物が該当。ただし、PC、タブレット端末は１０万円以下でも該当。）* | 円 |
| 消耗品費  | *（例）**○○、△△等試薬類 １０種類**実験器具類（○○、○○、○○）一式**（※注：ある程度具体性を持たせるようにして下さい）* | 　　　　　　　　　　円円 |
| 旅費 | *（例）**成果発表旅費（札幌－○○，◯泊：○○学会）* | 円 |
| その他 | *（例）**学会参加登録費（○○学会）**装置使用料* | 円円 |
| 研究経費合計 | 　　円 |

※学会参加登録費を支払う場合は、旅費も同じ独創的経費で支払うか、リーディングプログラムの海外渡航支援・国内研修支援のいずれかからサポートしてもらう必要があります。または、研究室の一般運営財源教育経費であれば支払い可能です。

**１．【研究計画】**※本項目は１頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。適宜図表等を用いるなどして、わかりやすく記入してください。

**(1) 研究の位置づけ**

提案する研究の位置づけについて、当該分野の状況や研究の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。

*この部分を含め，イタリック文章は削除して提出のこと。*

*申請書のコツ*

*・コンセプトや方法を示すきれいな図表を用いること*

*・文字は10.5pt以上を推奨
・主語と述語の関係や、接続詞を正しく利用することと（ 理科系の作文技術  ８章参照 （木下是雄著）  ）
・研究コンセプトのロジックや研究の面白さを異分野の研究者にもわかりやすく説明すること。
・時間に余裕をもって作成し、確認や意見をもらう時間を確保すること*

*・提出前に、先輩・後輩・教員などに見てもらい、意見をもらうことを強く推奨。*

**【研究計画】（続き）**※全体で２頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

**(2) 研究目的・内容等**

　① 研究目的、研究方法、研究内容について記入してください。

　② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください（今年度の計画に加えて次年度以降

の計画も区別して記載ください）。

　③ 研究の特色・独創的な点（先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）にも触れて記入してください。

　④ 研究計画が所属研究室としての研究活動の一部と位置づけられる場合は申請者が担当する部分を明らかにしてください。

　⑤ 研究計画の期間中に受入研究機関と異なる学内研究室や学外の研究機関（外国の研究機関等を含む。）において研究に従事することも計画している場合は、具体的に記入してください。

（**研究目的・内容等の続き）**

**２．人権の保護及び法令等の遵守への対応** ※本項目は１頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

　本欄には、「２.研究計画」を遂行するにあたって、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記入してください。例えば、侵襲性を伴う研究、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となりますので手続の状況も具体的に記入してください。

　なお、該当しない場合には、その旨記入してください。

**３．【研究遂行力の自己分析】**※全体で２頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

　本申請書記載の研究計画を含め、当該分野における(1)「研究に関する自身の強み」及び(2)「今後グローバルリーダーとなる研究者として更なる発展のため必要と考えている要素」のそれぞれについて、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記入してください。

**(1)** **研究に関する自身の強み**（根拠となるこれまでの研究成果も含む）

**(2)** **今後グローバルリーダーとなる研究者として更なる発展のため必要と考えている要素**

（**研究遂行力の自己分析の続き）**

**４．【研究経費の必要性】**※全体で１頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

設備備品費，消耗品費，旅費，その他の研究経費の必要性を記載ください。

設備備品費，消耗品費の必要性

旅費の必要性

その他経費の必要性